【国指定・史跡】

# 唐仁古墳群（とうじんこふんぐん）

（昭和９年１月22日指定，平成29年10月13日追加指定・一部指定解除）

唐仁古墳群の遠景写真

唐仁大塚古墳（１号墳）

16号墳の発掘調査の様子

写真提供　東串良町教育委員会

○　所在地　肝属郡東串良町大字新川西字大塚5095　外
○　面　積　76,136.91㎡
○　年　代　古墳時代
○　特　徴

唐仁古墳群は，大隅半島東岸の志布志湾沿岸に広がる肝属平野に所在し，墳長140ｍの唐仁大塚古墳をはじめ３基の前方後円墳と，119基の円墳から成る古墳時代中期の列島南端の古墳群で，県内で最大の規模を誇ります。古墳時代中期のヤマト政権と大隅地方の関係を知る上で重要な史跡です。

特に唐仁大塚古墳は県内で最大規模の前方後円墳で，後円部の周囲には周濠が巡っています。また，後円部の頂上には大塚神社が建立されていていますが，その下には竪穴式石室の天井石が一部露出しています。